



しきゆたか速報



No.4

J A 福井県
福井基幹支店
多収米部会

目標単収を適期管理で越えていく!!

● 適正な茎数にむけて、中干しと溝切作業を実施!!

5月下旬は平年に比べ降水量が増え、日照時間が減り、気温も平年を下回りましたが、6月上旬から徐々に回復しています。移植栽培は全体的に分げつが遅めですが、天候の回復と共に茎数の増加が予想されます。平年、北陸では6/11頃が梅雨入りですので、雨が降る前に徐々に溝切～中干しを開始しましょう。

1. J A 生育調査状況 (6月17日現在)

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m ²	葉令	葉色
移植	R3	5月3日	37.5	395.5	8.1	4.9
	R2	5月1日	51.8	418.6	8.6	4.8
直播	R3	5月5日	36.6	486.2		4.3
	R2	5月2日	43.6	414.0	7.5	4.6

しきゆたかの栽培管理ポイント

[中干しによる茎数抑制について]
中干しの目的は、
①過剰分げつ抑制による玄米品質向上
②根の健全化
③耐倒伏の向上の3点です。
※中干しが遅れると過剰分げつにより無駄の多い稲作りとなり、ふるい下の多発につながります。
中干しの期間は、幼穂形成期までに終了してください。中干し終了後は、走り水(かけ流し)で徐々に根を慣らしながら間断かん水に移行して、うわ根の発達を促しましょう。

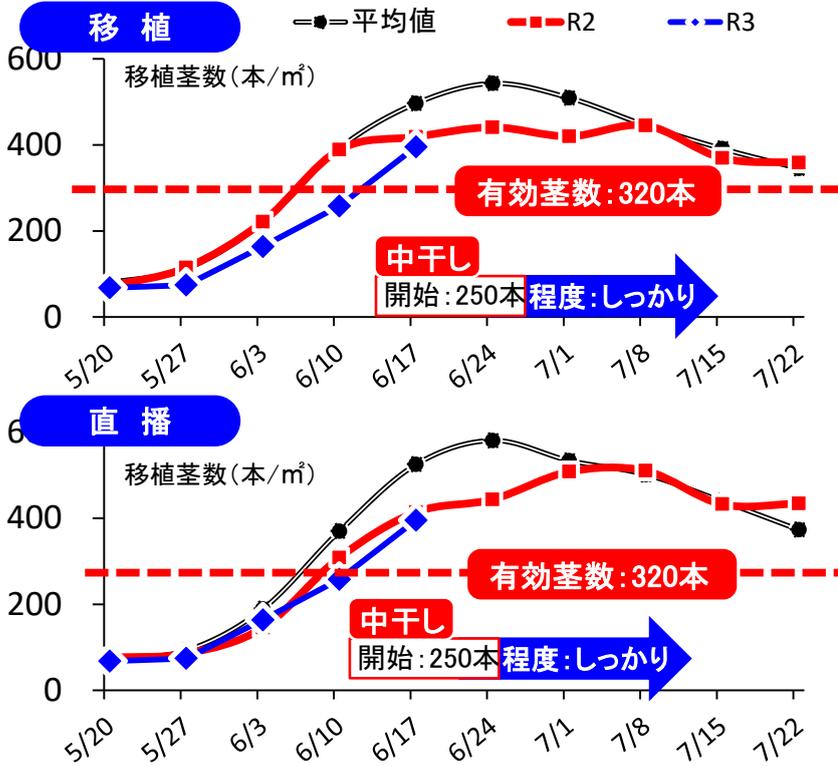
移植

移植の茎数は昨年並み、有効茎数を超え390本/m²です。中干しを開始しましょう。

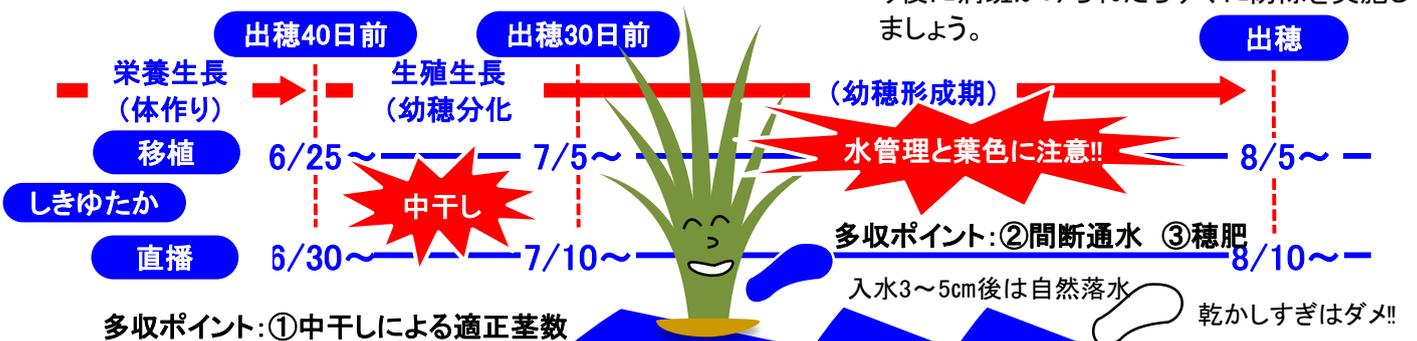
直播

直播の生育は、現在、茎数は250本/m²を越えました。中干しを開始しましょう。適正茎数を確保しましょう。
昨年度は特に直播栽培でいもち病や紋枯病による減収が問題になりました。今後梅雨入り後に病班がみられたらすぐに防除を実施しましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理



3. 多収米の幼穂形成期



的確な圃場管理で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『中央支店』が担当しました。